

# 3 チェックして電子納品ツールへ

## 3-1 電子納品基準を確認する

インデックスで設定した「電子納品要領・基準案」を確認します。  
例として「国土交通省 デジタル写真管理情報基準 平成28年03月版」を選択しています。



1 [電子納品出力]をクリックします。

2 [基準の選択]をクリックします。

3 設定されている①地域、②適用事業、③分野、④ガイドライン、⑤要領・基準を確認します。修正することもできます。



4 [OK]をクリックします。

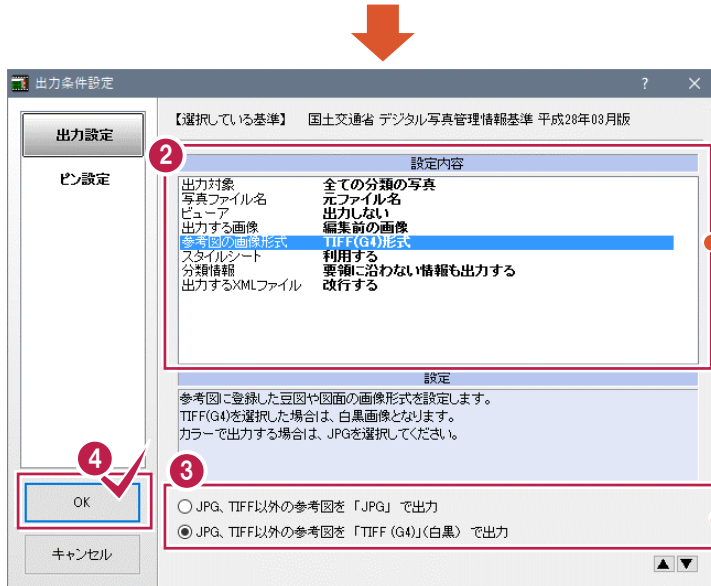
## 3-2

# 電子納品データの出力条件を設定する

電子納品データの出力条件を設定します。



1 [条件設定]をクリックします。



2 [設定内容]で出力に関する項目を選択します。

3 下部で内容を設定します。



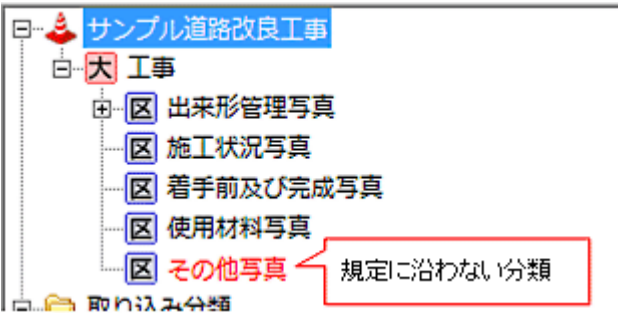
画面例では、「参考図の画像形式」を選択して、下部で出力する画像の形式を確認しています。


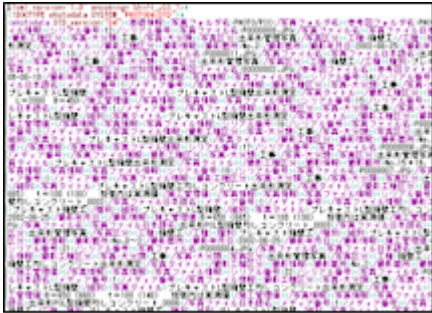
4 [OK]をクリックします。

メモ

### 設定内容と設定

設定内容	設定
出力対象	[選択している分類以下]:分類ツリーで選択した分類以下の電子納品データを作成します。 [全ての分類]:入力されている全ての分類から電子納品データを作成します。
写真ファイル名	[元ファイル名]:写真情報に入力された写真ファイル名で作成します。 写真ファイル名が正しく入力されている場合に選択してください。 [連番で付け替え]:写真情報の写真ファイル名を重複しない連番に付け替えて作成します。写真は「P0000001.JPG」～、参考図は「D0000001.JPG」(または「D0000001.TIF」)～の連番になります。 ※写真ファイル名が重複している場合、後に出力された写真で上書きされるため、登録されていても写真が出力されない場合があります。この場合[写真ファイル名]の設定で[連番で付け替え]を選択すると、正しく出力されます。

設定内容	設定
ビューアー	[写真ビューアを出力する]:チェックをオンにすると、各DISKフォルダにフォトビューアが出力されます。
出力する画像	[編集前の画像で出力する]:写真の改ざんが認められていない場合は、チェックをオンにします。写真の改ざんが認められている場合は、チェックをオフにします。 ※通常はチェックボックスは「オン」です。「監督官の承認と原本の確保により、写真の編集を認める」等の協議がある場合にのみ、チェックを「オフ」にします。
参考図の画像形式	[JPG,TIFF以外の参考図を「JPG」で出力]:参考図(豆図、図面)をカラーで出力したいときに選択します。 [JPG,TIFF以外の参考図を「TIFF(G4)」(白黒)で出力]:参考図(豆図、図面)を白黒で出力したいとき、または「TIFF(G4)」(白黒)のファイルで出力したいときに選択します。
スタイルシート	<p>[スタイルシートを利用する]:チェックをオンにすると電子納品データの各フォルダにスタイルシート(「XSL」ファイル)を出力します。スタイルシートを利用すると、出力したXMLファイルをWebブラウザ(InternetExplorerなど)で見るときの閲覧性が高まります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 949 927 1249">  <p style="text-align: center;">【チェックオン】</p> </div> <div data-bbox="959 949 1390 1249">  <p style="text-align: center;">【チェックオフ】</p> </div> </div>
分類情報	<p>[要領に沿わない分類情報は出力しない]:チェックをオンにすると規定に沿わない分類の分類情報は出力されません。その結果「規定に沿わない分類」の写真は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親となる「規定に沿った分類」の写真として扱われる。</li> <li>・ただし「写真-大分類」が規定に沿わない場合は、分類の情報が空白の写真データになる。</li> </ul> <p>のようになります。</p> <p>(例:下図の「その他写真」の写真は、「工事」の写真として扱われます。)</p> <div data-bbox="635 1621 1257 1935">  </div> <p>チェックをオフにすると、「規定に沿わない分類」の分類情報もそのまま出力されます。</p>

設定内容	設定
出力するXMLファイル	<p>[出力するXMLファイルを改行する]:チェックをオンにすると、出力する管理ファイル(XMLファイル)を、各タグで改行して出力します。オフの場合は改行しません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【チェックオン】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【チェックオフ】</p> </div> </div> <p>タグとは XMLデータの&lt;写真情報&gt;や&lt;/写真情報&gt;など、かぎ括弧でくられた部分がタグです。始めのタグ(&lt;***&gt;)と終わりのタグ(&lt;/***&gt;)があって、改行は終わりのタグの後に入れます。下層にデータがある場合は、始めのタグで改行が入ります。</p>

### 3-3 写真の表示順に番号を振り直す

写真のシリアル番号、写真ファイル名を、写真の表示順に振り直します。



- 1 [番号整理]をクリックします。
- 2 [データ順(表示順)]を選択します。
- 3 [実行]をクリックします。

# 3-4

## 写真情報をチェックする

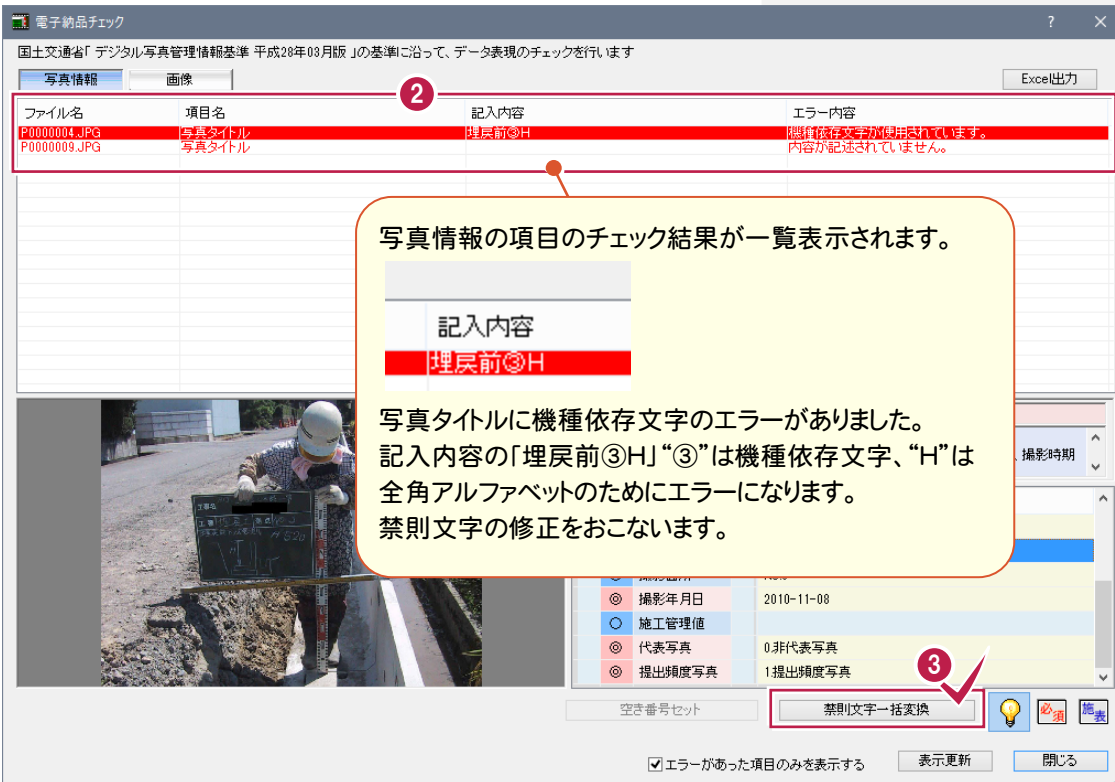
写真情報が選択している基準案に準じているかどうかをチェックします。



1 [チェック]をクリックします。



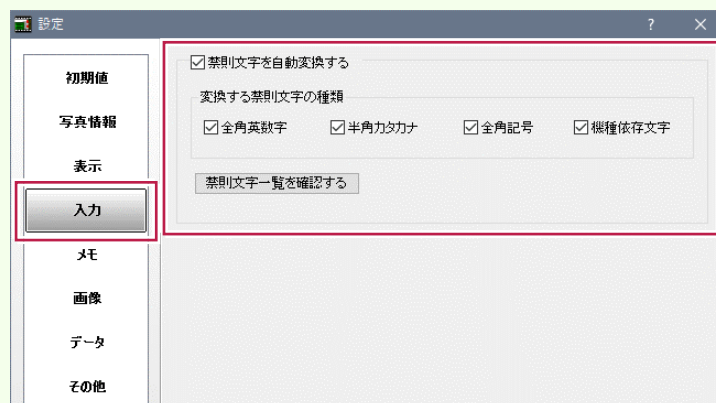
2 チェック結果を確認します。

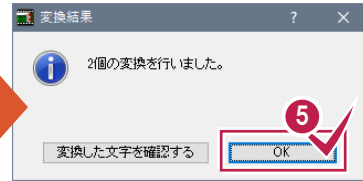
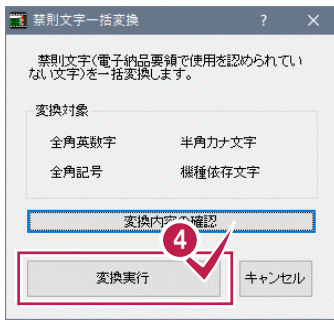


3 [禁則文字一括変換]をクリックします。



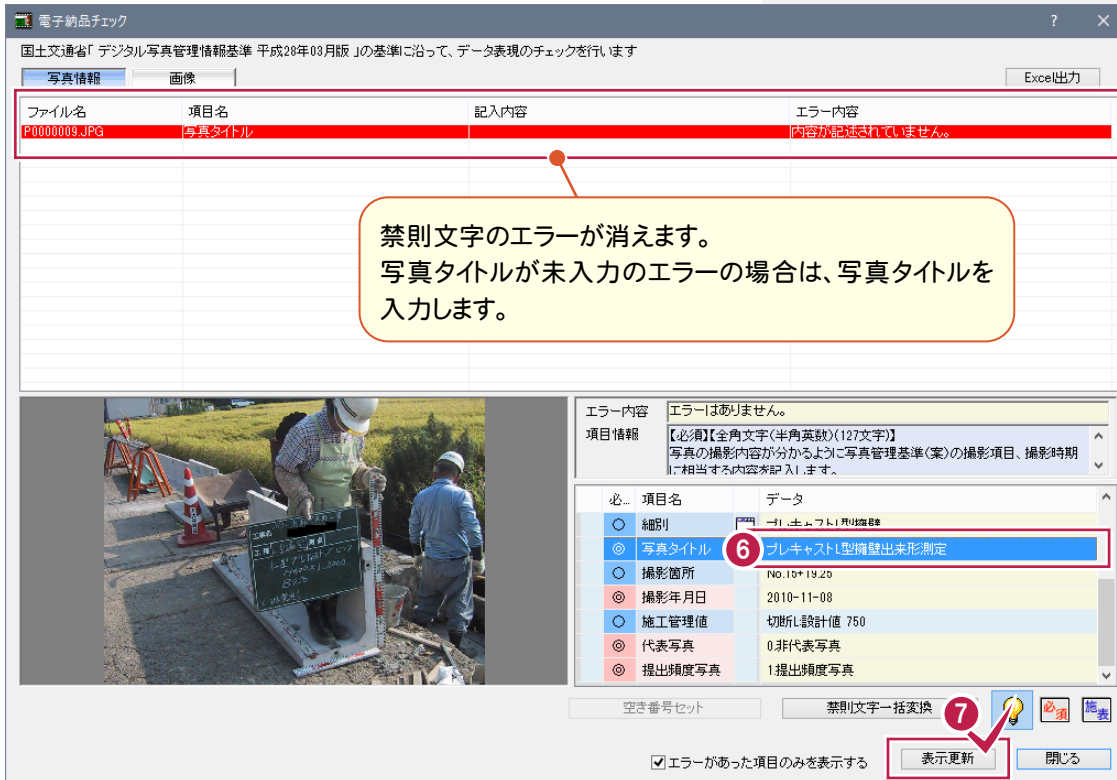
[入力・編集]－[設定]の[入力]の[禁則文字を自動変換する]のチェックがオンのときは、写真情報を入力した時点で、禁則文字が自動変換されます。





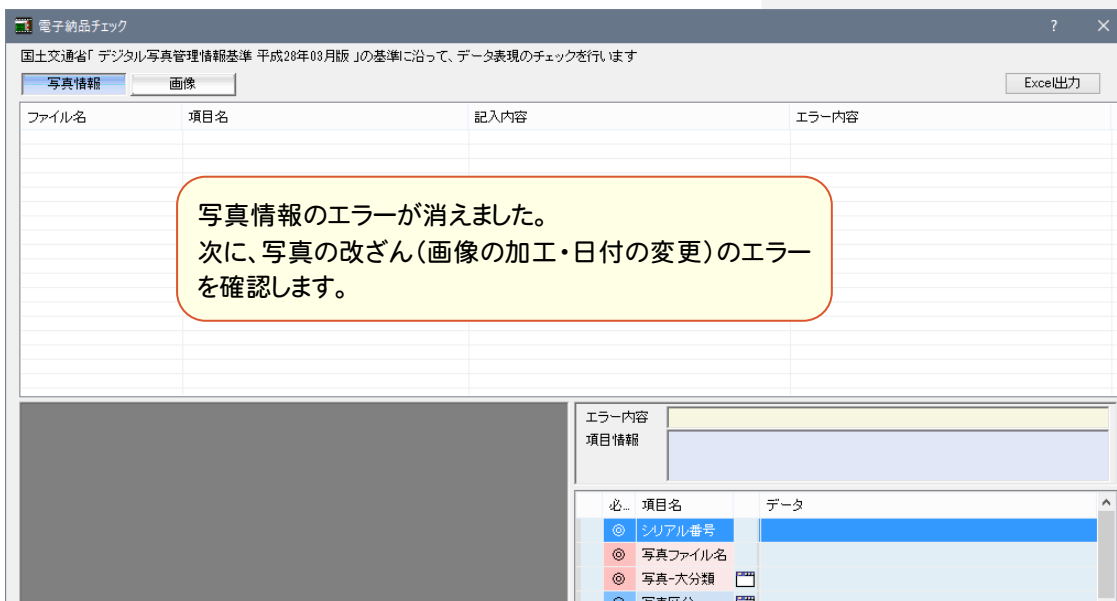
4 [変換実行]をクリックします。

5 [OK]をクリックします。



6 写真タイトルを入力します。

7 [表示更新]をクリックします。



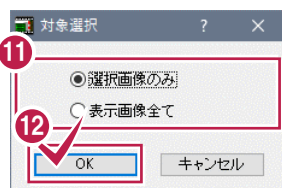


エラー内容 ([Exif情報] [撮影日] [回転] [Exifバージョン] [サイズ] [大きさ] [GPS情報] [圧縮形式] [加工検知]) が表示されます。

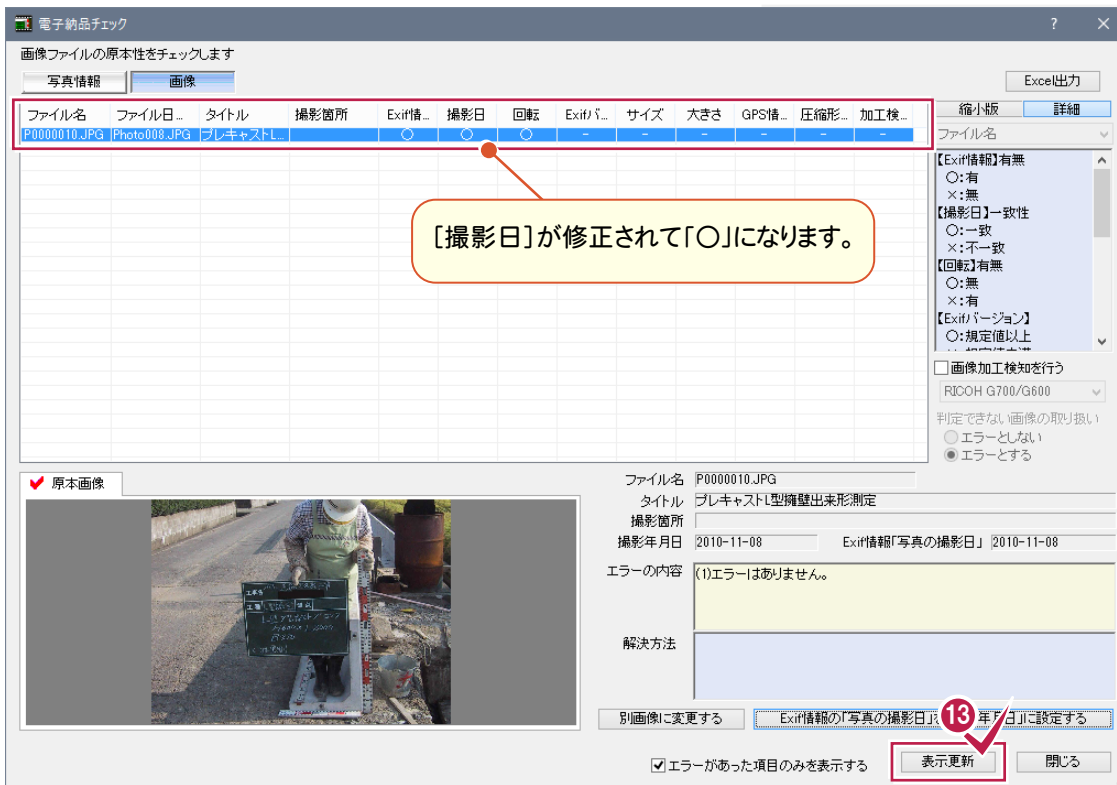
Exif情報	撮影日	回転	E
○	×	○	E

撮影日が未入力か間違っているエラーがありました。  
[Exif情報の「写真の撮影日」を「撮影年月日」に設定する] で、写真のExif情報から撮影日を取得します。

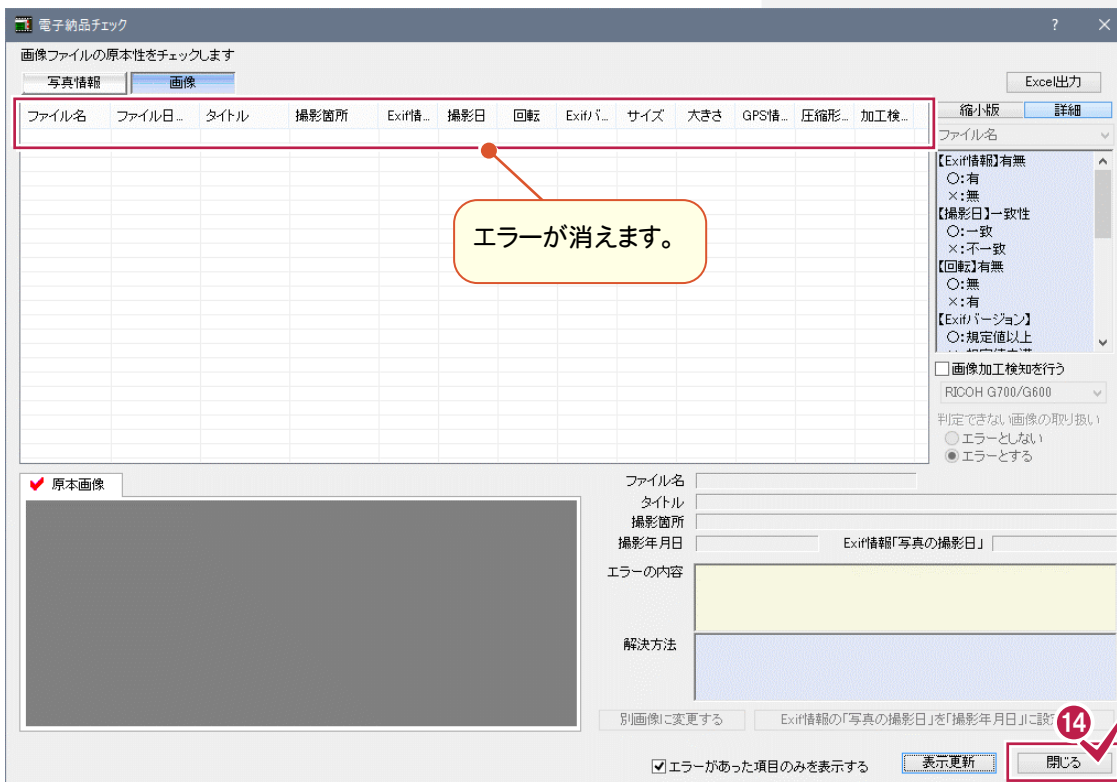
- 8 [画像]をクリックします。
- 9 チェック結果を確認します。
- 10 [Exif情報の「写真の撮影日」を「撮影年月日」に設定する]をクリックします。



- 11 対象となる画像を選択します。
- 12 [OK]をクリックします。



13 [表示更新]をクリックします。



14 [閉じる]をクリックします。



# 3-5

# 上書き保存する

上書き保存します。



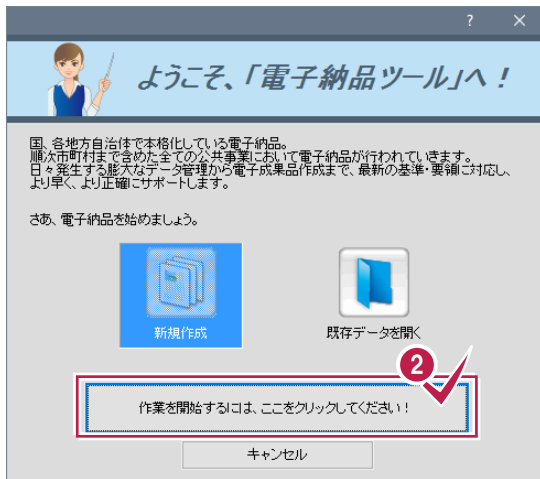
- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [上書き保存]をクリックします。

# 3-6 [電子納品ツール]を起動する

[電子納品ツール]を起動します。  
電子納品ツールのライセンスをお持ちでないお客様は、「機能制限版」が起動します。



1 [電納起動]をクリックします。



2 [作業を開始するには、ここをクリックしてください!]をクリックします。

